

知識・備え 保存版 見る場所に保存して使ってください。

浦添市防災マップ



命を守るために情報の収集に努めてください。大雨や台風、地震が発生した場合は、テレビやインターネット、浦添市から発信される情報の収集に努めてください。

浦添市防災・安全・安心情報配信システム & 持ち出し品チェック

市では、市民の皆さんの安全・安心を確保するための一助として、携帯電話等のメール機能を使った各種防災情報等を配信するシステム「浦添市防災行政速報メール配信サービス」を運用しています。

配信される情報: 1. 防災情報 (気象警報、地震情報、津波情報、台風情報等) 2. 緊急情報 (大規模な事故、テロ発生など緊急に伝達が必要な情報等)
浦添市防災行政速報メール配信サービス: 携帯電話から bousai.urasoe-city@raidan.ktaiwork.jp へ空メールを送信

非常時持ち出し品チェックリスト

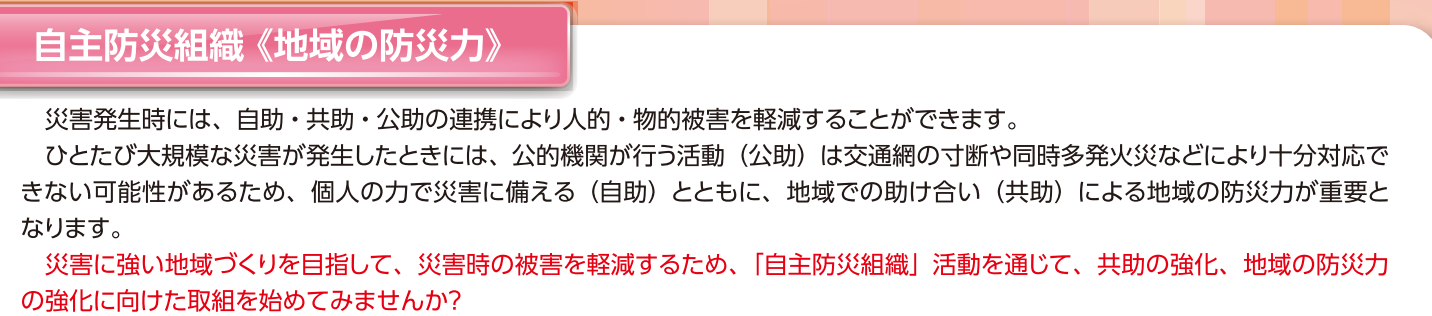
- 飲料水: 一人一日3リットルを目安。
食料品: 乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。
缶切り・ナイフ: 多機能ものが便利。
マッチ・ライター: 湿気やガス切れに注意。
医薬品: 持病薬、絆創膏、包帯、持病薬。
貴重品: 現金(小銭)、重要な書類など。
ヘルメット・防災頭巾: 飛来物や落下物から頭を保護。
衣類: 下着・ジャンパー・タオルなど。
レインコート・雨具: 雨天、防寒に。
手袋(軍手): ガレキの撤去や救助に。
ろうそく: 濡れない様にビニール袋に入れて、保管する。
懐中電灯: 夜間、すぐに手の届く場所に。
ラジオ: 情報収集に欠かせない。
乾電池予備: ラジオや懐中電灯に使用するものを。
靴: 避難する時に怪我を防止するために。
紙皿・紙コップ・ラップ: ラップを取り替えて使うことで、洗わないで使えるので重宝。
ティッシュ・ウエットティッシュ: 衛生面での必需品。

避難時に注意すること & 災害の予備知識

戸締り・ガス・火元・電気のチェック: 避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。
車での避難は控える!: 緊急車両の通行の妨げになります。
速やかに避難を!: 動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。
危険な前触れを知る: 地すべりの前兆、土石流の前兆、山崩れの前兆、がけ崩れ・山崩れの前兆。

災害時要配慮者の安全のために & 自主防災組織

援助が必要な人がいたら: 高齢者や病気の方、体の不自由な方、目の不自由な方。
自主防災組織(地域の防災力): 災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。



1. 自主防災組織とは? 2. なぜ、自主防災組織が必要なの?
災害発生時にはもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。

災害情報について

気象情報の伝達方法: 災害警戒情報について、情報の伝達経路(沖縄気象台、浦添市役所、避難勧告等、消防署・消防団・関係機関、報道機関)。

緊急時の連絡先: 消防・救急は119番、警察は110番。
■気象関係: 沖縄気象台 098-833-4290
■ライフライン: (電話の故障に関することは) 113
■行政関係: 浦添市防災危機管理室 098-876-1234

災害用伝言ダイヤルの使い方: NTTでは、災害発生時に、被災地への連絡がつかない状況の場合、被災地内や安全な地域の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を利用します。

特別警報の発表基準: 現象の種類(大雨、暴風、高潮、波浪)と基準(台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合など)。

About disaster information

避難情報と住民の皆さんの行動: 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)の発令条件と対応方法。

雨量の目安・気象情報の種類と基準

大雨注意報、大雨警報、記録的短時間大雨情報、雨の強さと降り方、風の強さと吹き方、台風の大きさと強さ、集中豪雨。

津波・高潮 Tsunami・Storm surge

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分後を目途に大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

津波警報・注意報の種類: 種類(大津波警報、津波警報、津波注意報)、発表基準、発表される津波の高さ、想定される被害と取るべき行動。

高潮・波浪警報の種類: 種類(高潮警報、高潮注意報、波浪警報、波浪注意報)、内容(台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあるときなど)。

高い場所へ速やかに避難する、河川や海岸には近づかない、なるべく徒歩で避難する、正しい情報入手する、避難指示に従う。

洪水・土砂 Flood・earth And Sand

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。

川のはん濫: 外水はん濫、内水はん濫。
土砂災害: 土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合は、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

がけ崩れ、土石流、地すべりの発生メカニズムと避難方法のイラスト解説。